



2015~2016年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

# やらまいか

会長/小野喜明 幹事/度会尚志 会報委員会/廣田 篤・中村嘉輝 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所

クラブテーマ 30周年記念事業を通じて、温故知新、上下一心  
 30周年記念事業を通じて、地域や国際にお返ししよう  
 30周年記念事業を通じて、友情と寛容を深めよう

事務局/豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第34回 通算1426回 平成28年3月22日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/8 修正出席率
		62名	29名	56.9%	88.7%

ゲスト:市内5高校 生徒27名、教諭5名 ビジター:(なし)

## ★会長あいさつ

### 小野喜明会長



こんにちは。各高校の皆さん、教諭の皆様、ようこそ豊川宝飯ロータリークラブ例会にお越し頂きました。ありがとうございます

ございます。今日は、高校生の皆さんの地道なボランティア活動を聞かせて頂き、我々の会員も勉強させて頂いて、これからのボランティア活動に活かしていきたいと思っています。

今日は高校生の皆さんにロータリーとは何か少しだけお話をさせていただきます。ロータリーと言うのは、Rotary Internationalでアメリカのシカゴに本部にあり、世界中にロータリークラブがあります。会員は約130万人と言われています。世界中に対して国際奉仕、地域に社会奉仕、若い人たちに青少年奉仕を一生懸命にやっているボランティア団体です。豊川商工会議所関係者の人たちが多く会員になっています。豊川市には、もう一つ、豊川ロータリークラブというクラブがあります。2クラブ合わせて約130名のロータリークラブ会員がいます。高校生の皆さんに関係がある奉仕事業としては、高校生の交換学生を世界中でやっています。また大学生に対しての奨学金制度も実施しています。奨学金は、日本への留学生、そして海外に留学する日本人に支給しています。陰ながら奉仕をしています。ただ単にお金を出しているだけの団体ではありません。ご理解を頂ければと思います。

先程ドイツからセントレアに到着したばかりです。ドイツの話をし少しします。ドイツと

いってもスイスとオーストリアに近い南側に行ってきました。スイスに近いので、南に行けば行くほど寒くなる地域です。アルプスの少女ハイジの様な民族衣装を着ている地域です。非常に自然が豊かで、農業や酪農が盛んなところ。今日帰って来る時に、フランクフルトの工業地帯に行ってきました。日本と同じように工業国です。国の成長が良く、失業率が2%です。日本は5%です。北の方に行くと移民の人たちが沢山います。南側はドイツ人しかいませんが、北側はトルコ人の二世三世が多くいます。10数年前にトルコからの移民を受け入れ、現在はその人たちが社会を支えています。現在は中東からの難民が多く問題になっています。豊かなドイツを見て来ましたが、反面、ヨーロッパ全体の問題も見て来ました。日本も北朝鮮、中国、ロシアなど国境を越えて人が入って来る事態が起きるかもしれません。そのようにならないように、国と国を超えて皆さんで仲良く出来るようにしたいと思います。

## ★幹事報告

### 柴田浩志パスト幹事

ロータリー休日について  
4月5日例会について

## ★青少年奉仕委員会担当例会

### 委員長あいさつ

### 大場篤委員長



こんにちは。本日は青少年奉仕委員会の担当例会になります。高校生の皆さん、各学校の先生方、大

変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日の例会は、ボラン・コラボ・穂の国 7 の高校生の皆さんの活動発表です。2007 年から毎年 2 回の発表会と交流会をしている継続事業です。高校生の皆さんに集まってもらい、例会で活動の発表をしてもらい、例会後の交流会をして頂いております。会員の皆さんにもボランティアについて理解してもらい、高校生の皆さんには情報の共有をして頂くことが、この事業の目的の一つであります。例会後の交流会にも、お時間がある方はご出席して頂きたいと思っております。

## 各学校の活動発表

### ◎豊川工業高等学校



豊川工業高校 HSV ボランティア部の発表を行います。現在 1 年生 12 人、2 年生 4 人の 16 人で活動をしています。

夏休みを利用して、近くの保育園や小学校を訪問し、ボランティア部主催のキャンドルナイトのお手伝いをしてもらいました。

小学校訪問では、子ども達にキャンドルを囲うために使うペットボトルに巻く半紙に、イラストや将来の夢を書いてもらいました。子ども達と交流しながら、楽しくイラストや夢などを書きました。子ども達のイラストがろうそくの光で照らされるのが、待ち遠しくなりました。

夏休み前半に、豊川海軍工廠被ばく70周年事業で、色んな人が劇で当時を再現するイベントに、その一員として劇に参加しました。暑い中でしたが、参加者全員が真剣に劇を演じ、当時の戦争の辛さを身を持って知ることが出来ました。

夏休み後半には、24 時間テレビで行われた募金活動に参加しました。プリア周辺で頑張って呼び掛けをし、沢山の人が募金をして頂き、募金箱が一杯になるほど集まりました。募金をして下さった人たちは、優しい人ばかりで、とても達成感がありました。

9 月に入って、キャンドルナイトを飾るためのマリンアート作りを八南小学校の子ども

達に作ってもらいました。マリンアートとは、ビーチコーミングで拾った貝やガラスを組み合わせて作るものです。最初はみんな苦戦しながらも奮闘し、それぞれ個性あふれる素晴らしいマリンアートを作ってくれました。

文化祭では、公園で拾ってきたドングリで人形を作るモノづくり教室を開きました。沢山の人が訪れ、可愛いものからカッコイイもの、中には独創的な人形やしおりを作る方がいて、とても楽しい文化祭でした。

メインイベントであるキャンドルナイトとは、約 2000 本のキャンドルを使って、思いを込めた一つの文字を描きます。今年の文字は「結」を描きました。この文字を選んだ理由は、想いを一つにする、出会った人たちの結びつきを大切にしようということで、この文字にしました。今年は風が強く、困難を伴いましたが、無事に完成をしました。マリンアートを作ってくれた八南小学校の子ども達以外にも、たくさんの方が来て、マリンアート・キャンドルで描いた「結」の文字を見て、とても綺麗と言ってくれました。この一言で、やりがいや達成感を感じました。来年度もマリンアート・キャンドルナイトを行う予定です。

### ◎宝陵高等学校



平成 27 年度宝陵高校ボランティア活動報告を始めます。

5 月に行われた豊橋街中歩行者天国に参加しました。このボ

ランティアは、1 年生の衛生看護科、福祉科合わせて 9 名が参加しました。これは 1 年生が宝陵高校に入学して初めて参加したボランティアです。

6 月には豊川リレーマラソンに参加しました。レース中は、給水所やナンバーコールに忙しく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。この他には、AED 待機として各学科の特徴を活かして参加することが出来ました。リレーマラソンに参加された方や大会を運営された方々から「パワーのあるナンバーコールに励まされたよ」「元気いっぱい応援は嬉しいね」「ボランティアの生徒さんは真面目にしっかりと役目をこなしてくれるので、

毎年とても助かっています」などのお褒めの言葉も頂きました。

8月の豊川海軍工廠被ばく70周年事業は、中学生体験入学と日程が重なってしまい、参加は3名でしたが、戦争について学びを深める良い機会となりました。

歩行者天国やリレーマラソンに続き、精神障害や知的障害のある方を対象にした心の風景イベントにもボランティアとして参加をしました。

ロータリークラブ交流会では、豊川市内の他の高校での取り組みを学ぶとても良い機会となりました。

交流会などの参加の他に、喜寿苑、美竹会、千両荘、ゆうあいの里、稲荷北ディサービス、オリーブなど多くの施設の夏祭りにボランティアとして参加し、利用者様や入所者様が夏祭りを楽しめるように移動の介助や会場整備、模擬店のお手伝いなどをさせて頂きました。喜寿苑の夏祭りには24名、美竹会の夏祭りには21名が参加しました。夏祭りは、とても盛り上がり利用者様や入所者様との交流もとても楽しかったです。

様々なボランティアに参加しているうちに季節はどんどん過ぎて、ボランティアの内容も夏祭りから納涼祭、秋祭りへと変わって行きました。ここでも校内実習や校外実習で培った技術や看護師、介護福祉士になりたいという気持ちを活かして、ボランティアに参加することが出来ました。

各施設で開催される文化祭に参加したり、豊橋善意銀行を通してのボランティアとして清掃作業や除草作業など様々な奉仕活動に参加しました。どのボランティアもとても楽しくためになるものばかりでした。来年度のボランティア参加が今からとても楽しみです。

今年度、これまでに参加したボランティアの団体と施設の数、10団体23施設でした。ボランティアに参加した生徒は、延べ230名でした。この他にも多くの施設からボランティアの募集がありましたが、定期考査や校外実習などとボランティアの実施日が重なってしまったために参加できないこともあり、とても残念でした。

本校のボランティア活動に参加すると特典があります。3年間で10回以上参加するとボランティア功労者として表彰してもらえます。今年度の功労者は、卒業生77名中、衛生看護科1名、福祉科5名でした。

来年度も少しでも多くの生徒にボランティア活動に参加してもらうために、引き続き「広げようボランティアの輪」をスローガンに、友達同士で、クラスで、部活で、各学科で誘い合い、声掛けあって、ボランティア活動に参加して行きたいと思います。来年度は、今年度の参加人数を越える事を目標に取り組んで行きたいと思います。

## ◎御津高等学校



御津高校にはボランティア部がないため、生徒会として活動の紹介をさせて頂きます。私たちの活動は、大きく分けて花壇

の手入れ、落ち葉の掃除、募金、行事の企画運営、野球部の応援、東北交流委員会などがあり、紹介をさせて頂きます。

私たち生徒会は、花壇の手入れにとっても力を入れています。毎朝早く学校に来て、水やりや草取りをしています。卒業式や入学式に綺麗な花が咲くように、冬から春にかけて菜の花、夏にはヒマワリやゴーヤを育て、プランターにもたくさんの花を咲かせています。毎朝生徒への挨拶を積極的に行い、とても大変ではありますが、生徒の皆さんが過ごしやすい環境になるように少しでも癒しが与えられるように日々頑張っています。

御津高校にはたくさんの自然があります。私たち生徒会執行部は、秋から冬にかけて落ち葉がたくさん落ちるので、落ち葉掃除を行っています。これは委員会や有志の皆さんに手伝ってもらうこともあります。

歳末助け合い募金や赤い羽根共同募金などの募金活動も生徒会が行っています。朝は駐輪場の前、昼休みは購買の前で生徒会執行部が担当し、募金活動を行っています。どの活動も挨拶や声掛けを欠かさず積極的に行うようにしています。

生徒会は、文化祭と体育祭、球技大会などの運営を行っています。それぞれの行事で必要なものを準備します。文化祭では、モザイクアートの作製、司会など行います。球技大会では、要項を全て生徒会が作成をしています。他には、新入生のしおりも生徒会が作成しています。行事が成功するように、みんな

協力して行っています。

去年の夏に行われた野球部の応援団について紹介します。御津高校の野球部は、今年で創立4年目です。夏の大会では、豊川高校との試合で延長戦に持ち込み、とても白熱した試合を見せてくれました。その大会では、生徒会と吹奏楽部が主となって応援団を結成しました。応援団長も生徒会のメンバーが務めて、全員で一丸となって応援しました。

御津高校30周年を記念して、宮城県石巻市石巻高校を訪ねました。1日目は、石巻高校の文化祭に参加をしました。多様なパフォーマンスやダンスに圧倒され、企画運営をしていた文化祭実行委員や生徒会の皆さん、先生方が支え合っていることがよくわかりました。更に私たちは、有志生徒が発表するライオンキングの劇にも参加させてもらいました。学校見学をさせて頂いた時は、石巻高校の校舎から海沿いの街を見ると、津波の痕跡が目に見えて分かりました。5年前に震災があったとは思えない程、生徒の皆さんは明るく元気で笑顔が印象的でした。2日目は、御津校生と石巻校生の混合のグループに分かれて、それぞれのコースで石巻市内を回りました。街を実際に歩いてみると、私たちが想像している以上に綺麗に復興されているところが多くあり、私たちが被災地に対して先入観を持っていることに気づかされました。石巻校生の皆さんは、本当に暖かい心を持っていて、同世代の私たちに素直な言葉でたくさんの事を伝えてくれました。この交流を通じて、2つの高校の間に築くことが出来たかけがえのない絆を、次の代へ繋げていきたいです。

御津高校には、ボランティア部がありませんが、地域を始めとした様々なボランティア活動をしています。ボランティアに進んで参加している生徒もたくさんいます。私たちは、これからも向上心を忘れず、生徒や地域の人に役立てるようにボランティア活動に励んでいきます。

## ◎国府高等学校



国府高校のボランティア活動報告をします。東北復興ボランティア、北関東・東北豪雨募金、赤い羽根共

同募金、学校周辺美化ボランティアの4つの活動について報告します。

私たちは、この夏休みの間、東北復興ボランティアに7名参加させて頂きました。そこで目にしたのは、やはり震災の傷跡でした。気仙沼での活動は、お伊勢浜海岸の清掃、植樹活動、大島に渡り島民の方たちとの交流会、介護施設や仮設住宅の訪問、気仙沼港祭りのはまらいんや踊りなどに参加をさせてもらいました。このボランティアでは、数えきれない程のたくさんの方のことを学びました。その中でも特に強く感じたことは、笑顔と元気と人と人との繋がりの大切さです。この体験が無駄にならないように日々意識して生活して行こうと思います。

9月の下旬に前期会長の提案により北関東・東北豪雨募金を行いました。たくさんの方々にご協力頂き67,467円の募金が集まりました。11月には赤い羽根共同募金を行い、こちらもたくさんの方の協力により多くの募金が集まりました。この募金活動を通して、私たち高校生でも何かできることがあるということ強く感じると同時に、今後も自分たちで進んで活動をおこす喜びと大切さを知ることが出来ました。

12月の期末考査最終日には、学校周辺美化ボランティアを行っています。いつもお世話になっている地域の方々に、日頃の感謝の気持ちを込めて、地下道や通学路、駅や踏切、近くを流れる音羽川周辺などのゴミ拾いや草取りを行いました。この活動で、ボランティアを身近に感じ、興味を持つ生徒が増え、よりよい環境づくりに繋がれば良いなと思います。

この他にも部活動や有志による地域清掃、福祉施設訪問なども活発に行われています。ボランティア活動は、地域に貢献することが出来るだけでなく、地域の方々と交流できるとてもよい機会だと思います。また、自ら進んでボランティア活動に取り組むことによって、自分自身を成長させることが出来ると思います。

ボランティア活動を通して、毎日の生活は多くの方々に支えられることによって成り立っているのだと改めて実感しました。支えられるだけでなく、支えていける立場になれるように、より多くのことを学び、経験して、社会貢献できるような大人へと成長していきたいと思っています。

## ◎小坂井高等学校



平成 27 年度小坂井高校のボランティア活動について報告します。私たち生徒会は 6 名で活動をしています。

本校にはボランティア部のような活動はなく、ボランティア行事ごとに生徒会執行部の呼びかけで参加者を募って活動をしています。

5 月の善意フェスティバルに参加し、豊橋動植物園にて障害のある方や地域の子も達とふれあいました。本校からは 50 名以上が参加しました。

8 月に豊川海軍工廠被ばく 70 周年事業ボランティアに参加しました。豊川全体で行われたもので、70 年前の 8 月 7 日に何が起きたかを再現する行事でした。私たちは受付係として参加をしました。見学に来られた方々の中には、戦時中の豊川の様子を写した写真などの資料を持参し、戦争の酷さや恐ろしさを懸命に伝えて下さる方もみえて、とても印象に残りました。貴重な体験をさせて頂いたことへの感謝の気持ちに加え、自分たちがこれから戦争を起こさないために何をすべきか、そして全ての物事に対し興味を持ち、考えていくべきだということを実感させられました。

赤い羽根共同募金運動を行いました。私たち生徒会役員と文化委員が校舎前に立ち、登校する生徒に募金を呼び掛けました。更に昼休みの放送や各クラスに於いても文化委員の呼び掛けなどを行った結果、多くの生徒や先生方がクラス単位で、また個人で協力してくれました。バザーの利益をまとめて寄付してくれたクラスもあり、今年は 41,595 円が集まりました。集まった募金は、愛知県共同募金会に届けました。

後期の一番大きなボランティア活動として、クリーン大作戦がありました。クリーン大作戦とは、我が校特有の行事で、毎年 2 学期の期末テスト、終業式のあとに行われています。目的は日頃利用している通学路、学校周辺などを清掃し、感謝と奉仕の心を表すことです。今年度は、各部活動の部員と有志の生徒、総勢 546 名が集まり、ゴミ拾いをしました。集めてみると、可燃ごみ、不燃ごみと合わせて

20 袋以上もありました。ゴミが多く捨てられていることは残念に思いましたが、学校周辺を綺麗にし、地域の方々にも喜んで頂けたので達成感がありました。来年も多くの生徒が参加するように呼び掛けていきたいと思いません。

以上が、本年度、本校が行ったボランティア活動です。私たち高校生は今、多くの便利なものに囲まれながら豊かな生活を送ることが出来ています。しかし、人々が助け合わずに生活してはいけません。一人でも多くの人に、ボランティア活動などに積極的に取り組みながら自分を磨き、そして心の豊かさも大切にしていって欲しいと思います。

## ◎ボラン・コラボ・穂の国 7 交流会

テーマ

「ボランティアを経験して良かったこと。」

今後どう活動していきたいか？」

各テーブルの発表

### 良かったことは？

- 先輩との交流が出来る。
- 障害者の方に対しての接し方を知ることが出来る。
- ボランティア関係で仲間が増える。
- 地域の方に感謝され、達成感を得られる。
- 高校生では出来ない経験ができること。
- コミュニケーション能力が学べた。
- ボランティアをすることで、慈善活動というものを良く理解することが出来た。

### 今後どうしたいか？

- グループ参加者だけでなく、個人で参加してくれる人を増やしたい。
- 活動内容を選ばず、全ての活動に人が集まるようにしたい。
- ボランティアを分かってもらえるようにしたい。
- 募金に関しては、募金の活用について具体的に表記して理解をしてもらう。
- 活動内容と活動の範囲を広げていきたい。

## ★ニコニコボックス

河本圭史会員 誕生日を祝って頂き  
井澤秀明会員 //

会報担当：廣田 篤会員・中村嘉輝会員